

青少年育成 かすみがうら市民会議 広報誌

vol.11

青少年心身健全育成事業「ジュニア和太鼓教室」



ふれあい生涯学習フェア2022の収録に参加



● 会長あいさつ ●

青少年育成かすみがうら市民会議 会長 酒井賢治



皆様方には、日頃から青少年育成かすみがうら市民会議の活動にご理解ご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

現在、インターネットを介した事件やトラブル、いじめや児童虐待、さらには貧困など青少年を取り巻く環境は、大きく変化しつつあります。

本市民会議は、市民の皆様方と関係各種団体のご協力をいただきながら、最大の目的でもある「次世代を担う青少年の健全育成」を達成するために様々な活動を展開しております。昨年度に引き続き、7月に開催を予定していましたが「青少年育成を考えるつどい」はコロナ禍のため中止になりましたが、昨年度はほとんど実施できなかったウイークエンド・コミュニケーション・スクール事業は、感染症対策を行ったうえで復活することができました。

市民総ぐるみで青少年健全育成に取り組むため、皆様にご賛同いただきました会費は、ジュニア和太鼓教室（青少年心身健全育成事業）をはじめ、ウイークエンド・コミュニケーション・スクール事業、青少年相談員連絡協議会、高校生会、中学校立志行事などへの補助金交付、二十歳の集い（旧成人式）での記念品配付、広報事業などへ大切に活用させていただきます。

今後とも、市民の皆様方には「地域の親「社会の目」として子どもたちを温かく見守っていただき、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



❖青少年育成かすみがうら市民会議とは

次世代を担う青少年が、社会における自らの役割と責任を自覚し、豊かな情操と広い視野を持った大人へと成長することは、市民すべての願いです。その願いの実現を目指し、地域環境整備や青少年への働きかけを行うことは、我々大人の責務であるといえます。

こうした責務を果たすべく、市民ぐるみの運動を展開し、次世代を担う青少年の健全な育成を図ることを目的に、「青少年育成かすみがうら市民会議（以下、市民会議）」が結成されています。

❖市民会議の事業とは

市民会議では、青少年の健全育成運動の総合的企画や関係機関・団体等との連絡調整をはじめ、青少年の健全育成を推進するために各種事業の実施や関係団体の支援、青少年育成に対する関心と理解を深めるための広報・啓発活動を実施しています。

❖市民会議の活動費

市民会議は、その活動にご賛同いただいた皆様からの会費によって運営されています。

会費は、青少年健全育成を目的とした事業の展開や学校・関係団体への支援に対する貴重な財源として活用させていただいております。

❖今年度(令和4年度)の事業

青少年心身健全育成事業（ジュニア和太鼓教室）

青少年健全育成に関する広報活動

ウィークエンド・コミュニティー・スクール（KWCS）事業

親子つり大会・リーダー研修会など市子ども会育成連合会事業への協賛

二十歳の集い（旧成人式）での記念品配付及び式典準備費への助成

青少年相談員連絡協議会の巡回指導等の活動への助成

市リーダーズ高校生会への助成

中学校立志行事への助成

青少年育成を考えるつどい【中止】

❖会員募集について

本会では、毎年会員を募集しております。本会にご賛同してくださる方には、会費を納入いただいております。【会費】一般会員：年額 200 円、賛助会員：年額 1 口 1,000 円（1 口以上）
会費の納入につきましては、毎年 6 月頃に区長・自治会長・常会長・班長の皆様を通してお願いしております。

会員加入にご協力をお願いします。

..... ~推進している運動をご紹介します~

「あいさつ・声かけ運動」

まず、大人から子どもにあいさつ・声かけを始めてみましょう！

「あいさつ・声かけ運動」は、家庭、学校、地域で、大人と子ども・大人同士・子ども同士のコミュニケーションを広げる運動です。

青少年が、将来への夢や希望をもっていきいきと成長していくためには、地域社会の大人たちが、学校や家庭と連携を図りながら支援していく必要があります。

「親が変われば、子どもも変わる運動」

いつの時代にも、次代を担う青少年を健全に育てていくことは親や大人の使命です。

私たち親や大人は、青少年問題の背景には親や大人の生き方や社会のあり方が深く関わっていることを自覚して自らの生き方を見直し、姿勢を正していかなければなりません。

青少年の人格形成には、日常生活における親の子どもへの関わりが大きく影響します。親が、子どもたちのよい手本となるよう親自身が変わっていく必要があるため、大人のマナーアップ運動としても実施しています。



令和4年度

「少年の主張茨城県大会 主張文を募集しました」

公益社団法人茨城県青少年育成協会及び独立行政法人国立青少年教育振興機構の主催による「令和4年度少年の主張文募集」に、市内中学校・義務教育学校から推薦のあった6名の主張文を提出いたしました。

ご紹介する6名の生徒の皆さんには、少年の主張がすみがうら市大会で発表してもらう予定でしたが、中止となりましたので、当広報誌にて作品をご紹介いたします。

タイトル	学校名	名前
子供の未来の為に	千代田義務教育学校	矢口 綸花
AIの技術	千代田義務教育学校	坂野 獅空
みんなが笑顔になれる社会とは	下稲吉中学校	鈴木望乃春
天才はこの世にいない	下稲吉中学校	関 心優
「良い子」じゃなくても	霞ヶ浦中学校	櫻井穂乃香
LGBTQ (+) について	霞ヶ浦中学校	菅谷 侑果

(敬称略)

*令和4年度より、小中一貫教育の実施に伴い市内中学校は学年表記が7~9年生になっています。

子供の未来の為に



千代田義務教育学校9年
矢口 綸花

私は親や大人そして、子供にも意見したいことがあります。

まず、大人のみなさんは、子供の頃、「勉強しなさい。」という言葉聞いたことがありますか。私もありません。私は勉強が大切だということももちろんわかっています。そして学生の

本業は学業です。しかし、私はただ勉強をするだけではない大人にならないと考えます。ただ机に向かい、教科書を聞き学習する、それでは将来必要なことは育ちにくいと私は思います。将来に必要なことは、学習でも得ることはできません。でも全て得ることはできないと思います。想像力、協調性、自分で考え行動する力、自分のスケジュールを管理する力、必要なことをあげ始めたらしりがあります。その将来に必要な力を全て得ることは難しいけれど、勉強だけでは更に難しいと思います。まず協調性は一人で机に向かい勉強するだけでは得られません。分からない所がある人に教えたり、分からない問題を一緒に考えたりすることで協調性は得られると思うので協調性を得る為には周りのとのコミュニケーション

ションが必要だと私は考えます。

次に自分のスケジュールを管理する力は、子供が自分のことを考え計画を立てて、実行することで得られると思います。小学校低学年など、楽しいことばかり行ってしまう時に親の注意は必要です。それは中学生でも同じだと思います。テストが近いのに長時間スマホをいじったり、ゲームをしていたら親に注意してもらわないといけません。でも例えばあと二十分したら勉強を始めよう、この動画を一つ見終えたら勉強しようなど、自分で計画を立てている子もいます。そういう時に親から「勉強しなさい。」いつまでゲームしているの、勉強しないで大丈夫なの？」などと言われると、勉強へのやる気を失う子も多いと思います。また、せっかく楽しく、勉強へのモチベーションを高めることができる時間が楽しくなくなってしまう。それに、自分は信用されていないと感じ、不快感をいだく子も少なくないと思います。ときには親の厳しさのおかげで、勉強への切り替えができることもあります。なので子供達は親への感謝を忘れず、しっかりと感謝して親は、少しそつと見守っていてほしいです。そして、子供が遊びすぎている時はきちんと注意してほしいです。親のみなさんに難しいことを言っていることはわかっています。ですが子供の成長には親の手助けが必要です。しかし、大きくなるにつれて、親の手を離れていきます。その手を強く握りすぎず、子供が進みたいと思う方向へ、背中を押してあげてください。そして子供が間違った方

向、悪い道へ進みそうな時はそつとつれ戻してあげてください。子供は大人のみなさんが思っているよりも大人です。でも、まだまだ小さく、心の脆い部分があります。子供は大きくなるにつれ自分はまだ大人だから大丈夫と思いつい込み、親に反発する事も多くなります。親を傷つけてしまうことを言ってしまうことや、ほんとうに言いたいことを言えず、つい意地をはってしまうこともあります。親への感謝は毎日たくさん感じているのに素直な気持ちを伝えられず、自分で悩みや弱い部分を隠そうとします。親は子供が思っているよりも、子供が隠そうとすることを分かっている、気付かないフリをしてくれます。子供は気付かれないうちにたくさん親に支えられています。なので支えられている事に気付いたら子供はすぐに感謝を伝えると思います。とつさに感謝の言葉が言えることは将来にも役立ちます。また、親は、厳しい時もありますが、優しく私達のやりたいことを後押ししてくれます。そんな親のありがたみは、私達、子供が思っているよりも大きいです。私も両親に感謝を全て伝えられているわけでもありません。でも、今からでも少しずつ感謝を伝えていきたいと思えます。

子供達は親に心配かけないように、自分のやるべきことをやり、親への感謝を忘れないこと、親や大人は子供のことを少しそつと見守り、子供のまだ脆い部分を助けてあげることが、子供が立派に社会にでるのに大切だと思います。

AIの技術



千代田義務教育学校9年
坂野 麗空

最近ではテレビで「無人の店」や「最先端のAI導入」などの見出しが良くみられます。このように人工知能によって人間の仕事が減っていくことが最近では話題になっています。仕事にAIを導入することによって労働者不足の解消やデータの分析や把握などを行えるようになります。労働者不足を解消することで働く人が不足している仕事などでは大きなメリットになります。また、AIは身近な生活にも役立っています。スマホやパソコンで文字を打った時に出てくる予測変換もAIによるものです。音声だけでさまざまな操作を行えるスマートスピーカーも有効活用することで生活の利便性が高まります。AIは音声認識が可能なことからFAQなどをAIと通話やチャットをすることが可能となっています。さらに音声認識を活用したりリアルタイムでの翻訳が可能となっています。これにより英語が苦手な人でも外国の人とコミュニケーションをとることができまます。このように便利になっていくとともにAIには課題点もあります。

まず、AIを仕事に導入した時、AIに問題が起きた場合、関係している機械などがすべてストップしてしまう可能性があります。また、AIを使用した場合、責任の所在がわからなくなる可能性があります。例えば、AIを活用した自動運転の車が事故を起こしてしまった場合、責任は車に乗っていた人なのか、その車をつくった会社なのか分からなくなってしまいます。このようにAIを使うと大きな利点もありますが、問題点も出てきてしまいます。

つまり、AIは場所や状況に合わせて、使う必要があります。大きな工場やAIの機械を使う場合、緊急時に機械をどう動かすのか、どこまでの機械を止めるのかなどを考えて使う必要があります。高度なデータ分析などもAIだけでなく、人の目でも確かめる必要があるなど、まだ今の時代ではAIだけで人間の行っていた仕事をすることは難しい場合もあります。

また、AIはコミュニケーションが苦手であり、場に応じた言葉選びや感情表現は人間が行わなければなりません。

最近話題になっている「無人コンビニ」などの店員のいない店では、複数のカメラとAIによって管理されています。さまざまな方向からカメラを設置することによってAIが人を正確に追っついていき、会計なども全てプログラミングされています。店に店員を入れないことによって人件費をおさえることができるといわれています。しかし、無人の店にもデメリット

がでてきてしまいます。

まず、高齢者が買い物をしづらくなってしまふことです。今は少子高齢化社会と言われ、高齢者が多いですが、高齢者は今の時代についていけない人が出てきてしまいます。そのためお店をすべてデジタルにすると高齢者が買い物をしづらくなってしまふのです。

これらのことにより、今の日本ではAIがどんどん進化していったり便利になる物がたくさん開発されています。その一方でAIには問題点も多く挙げられます。そのため、人間とAIは共に進化していくべきだと考えます。人間には難しいことなどはAIなどが行い、AIには難しいことを人間がやるなどして、共に協力することが大切だと思います。

みんなが笑顔になれる社会とは



下稲吉中学校8年
鈴木 望乃春

皆さんは「ジェンダーバイアス」という言葉をご存じですか。ジェンダーバイアスとは男女の役割について固定的な観念を持つことです。例えば、男

性は外で働き妻子を食わせるのが当たり前とか、女性は家事をこなす子どもを育てるのが役目、などです。実は私もジェンダーバイアスを痛感した出来事があります。

それは小学五年生のときでした。六年生の市陸上記録会の応援のため、応援団をつくって応援団長を選出する集まりで、私は元々あこがれていた団長になろうと、一人張り切っていました。しかし、いざ始まると

「女子はそっちでチアリーダーを決めて。」

「男子はこっちで応援団長を決めよう。」

一瞬戸惑い、そして疑問が頭に浮かびました。なぜ女子だからという理由で応援団長になれないのだろうか。どうして女子はチアと決めつけられているのだろうか。言った方はきつと何気なく発言したとは思いますが、せっかくのチャンスを奪われ、悔しい気持ちになりました。そして、そのことについて何も言えなかった自分をふがいなく感じました。一方で、団長を選ぶ緊張がなくなると、ほっとしている自分がいました。結局、私はチアとして応援しました。後悔が残る出来事となりました。

その年の運動会でも、また男女で分けられるのではと、とても不安になりました。でも今回はどうしてもやりたいのなら、チアをやらなくても良いということになりました。手袋をはめて応援することにあこがれていたの少し嬉しい気持ちになりました。少し、というのは、どうしてもやりた

いのならばと言われたことが心に引っかけたからで、チアをやるか、やるかいは、完全に個人の自由だと私は思っていたからです。それでも前と良い意味で変わったことに嬉しい気持ちになりました。

さらに、一年後の運動会。最高学年となりまた応援団長のチャンスがまわってきました。しかし今度は新型コロナウイルス感染症拡大によって開催も危うくなりましたが、先生方や保護者の皆様のご協力のもと無事開催することができました。最後の運動会、今回こそは、と緊張や不安が大きい中、晴れて応援団長になることができました。ここまで私が応援団にこだわったのは理由があります。それは、今までの五年間、見てきた中で、女子の応援団長がいなかったからです。そうすると次の世代に「応援団長は男子がやるもの」というジェンダーバイアスが生まれかねません。そんなことは気にせず、やりたいなら自信を持って「やりたい」と言えるようにしたいと思えました。そして、そのために私ができるのは、最後の運動会で応援団長になること、だと思ったからです。

ここ数年、男女による格差が目まぐるしくなってきました。ジェンダーバイアスもその一つだと思えます。ですが、本人も意識しないうちに固定観念にとらわれた発言をしてしまうことがあります、私だってあるかもしれません。特にLGBTQ+の方への配慮はまだまだ足りないと思います。それでも、次の世代に同じ思いをしてほしくないです。私たちが変えていかな

ければ変わりません。私がやったこともすごく小さなことですが、少し少しの積み重ねが大きな力になると信じて行動していくことが大切なのではないのでしょうか。そして、自分の意見を大切に、他の人の意見も尊重して、一人一人がいきいきと活やくできる社会になってほしいです。

天才はこの世にいない



下稲吉中学校8年
せき 関
こい ゆ
心優

みなさんは世の中に天才はいると思いますか？

私はこの主張内容を書くにあたり、友人に天才はいると思うかどうか聞きました。友人はいると答えました。そう思った理由を聞くと、勉強ができる人、スポーツができる人は肩書きとして天才とつけられることが多々あるからだと言いました。他の友人にも聞きました。友人はいると答えました。でも私はある二つの事例からこの世に天才はいないと考えました。また天才と言われている人の特徴も見つけました。

一つ目の事例は某YouTube

グループのリーダーAさんのお話です。Aさんのチャンネルは、登録者数が全く伸びず、いわゆる底辺YouTubeと呼ばれていました。です

が、去年は一年間で二五〇万人もチャンネル登録者数を増やして大物YouTubeになり、グループのリーダーであるAさんは世間から天才と呼ばれるようになりました。実際私も売れっ子のAさんたちを天才だと思っていました。そんな時にAさんは自身のエッセイ本を出版し、私はこのエッセイ本を読み、Aさんは天才ではなく、超が付くほどの努力家なだけだったと知りました。そのエッセイ本にはどういった戦略だったのかが書いてありました。Yさんは簡単にチャンネル登録者数を増やしたと思われているだけで、Aさんは目標を掲げて、目標を叶えるための戦略を立てて実行することを繰り返していたことが分かりました。Yさんのしていることは一見、簡単に見えますが実際はとても過酷です。毎日朝から夜まで動画の撮影・編集しています。なので徹夜をすることは多々あるので、一週間の睡眠時間の平均は一〜三時間程度です。多くの人が出来ないと言っていると思います。多くの人が出来ないことをAさんのグループはやってのけたのです。みんながやらないことに挑戦して、努力を続けたからこそ、チャンネル登録者数を増やすことに成功したのだと思います。世間が、私ですごいと思っていたことは本人からしたら努力に見合う結果が付いてきただけなのかもしれません。私もこの裏側を見てからはAさんは天才ではなく超

努力家だと思うようになりました。

二つ目の事例はある友人Bさんです。Bさんとは小学生になる前からのお友達です。Bさんは昔から何でも簡単にこなせてしまう人でした。例えば、テストをすれば一〇〇点をとり、スポーツをすればとても上手にでき、初対面の人もとすぐ仲良くできる人です。私は、テストで一〇〇点を出すことがあまり無かったし、スポーツも球技が苦手でした。だからBさんのことがとてもうらやましかったです。中学生になってBさんと同じクラスになりました。私はどうやったらそんなにできるのか気になったので授業が終わった後に授業ノートを見せてもらいました。Bさんのノートに私はとても驚きました。先生が黒板に書いたのをただ写すだけでなく、先生が書かない言っただけだったコツやポイントを誰が見ても分かるくらいきれいに書いていました。私は先生の書いてることをそのまま写しただけでした。それから私はBさんの真似をしてノートをきれいにまとめるようになりました。自分でもとめることが苦手だったのに、いつの間にか友達にほめてもらえるようになりました。中学生初めてのテスト。私は三教科学年一位になりました。友達には天才とほめられました。私はそこで違和感を覚えました。私は生まれてきた天才でなく、ただ自分なりに努力をしただけでした。思い返してみれば、私が天才だと思った人はみんな努力をしていたことも思い出しました。そこで、違和感がなにか分かりました。この世の中には天才はいないので

はないでしょうか。天才と呼ばれている人たちは皆、普通の人がしていない努力をしているのではないのでしょうか。

私はみんなに言いたいことがあります。それは努力をすれば天才と言われるような人になれるということです。努力の仕方は人それぞれ違います。でも努力をしている人はみんなの何倍も頑張っているのです。なりたいたい心から思い、努力すれば天才と言われる人になれます。

「良い子」じゃなくても



霞ヶ浦中学校9年 桜井 穂乃香

「学校は型に当てはまる場所なんですよ。」

ある先生が言いました。確かに最近このような傾向があるように思いますが、勉強ができる子が良い、できない子はだめ、運動ができる子がカッコイイ、できない子は落ちこぼれ、顔が良い、スタイルが悪い、など無意識に分類されているような気がしました。「良い子の型に当てはまれ」とでも言っているようです。でも、それで良いので

しょうか。

少し前に書店で、「私のことをほめないでください」と思っている若者が増えている、という内容の本を見かけました。他の人と違うことを嫌うので、ほめられて抜きんでることを嫌うのです。悲しくも、なるほどな思っています。自分と違う人がいるのが当たり前なのに、普通が一番で、「みんなと同じ」であるためにエネルギーを使わなければいけないとなりつつある「学校」が息苦しくて怖くなりました。

同じ書店に、このような本もありました。「みなさんは、成績表の数字、TOEICやテストの点数、進学した学校、体力テストの結果、今している仕事、年収などを除いたとき、何が残りますか？」という質問が書かれています。私はハツとして自分のことを振り返ってみると、このような数字ばかりにこだわっていることに気づきました。それと同時に、大人の人たちは自分を示しやすいくこれらの数字を求めすぎているとも思いました。

この質問を知った次の日、クラスのみんなをよく見て生活をしてみました。そしたら、たくさんのことが見えてきました。

勉強ができてしっかり者で、みんなが憧れるあの子は、陰でさまざまに努力をしています。

勉強が少し苦手はいじられキャラの子は、誰にも見られないところで気配りをしていました。

運動が嫌いひっこみ思案に見えた子は、好きなことに全力で、自分を犠

牲にしても人を思いやる人でした。

「問題児」にされていたあの子は、誰ひとり思いつかない考えをたくさん持っていました。

ここで挙げたのはごく一部です。その人にしかない良いところがみんなにありました。こんなに温かい人がたくさんいるのに「学校」の型に当てはまれないなんて不可能です。みんなのことを見て確信しました。

最初に示した、先生が言った言葉には続きがあります。

「でもね、型に当てはまらない子がいるのが普通でそれが学校だ。だからそれを受けとめる人が必要なんだよ。」

こんな大人がいるんだと思いました。こんな人が増えたらもっと幸せだろうとも思いました。この先生は、良い子になろうと必死だった私を「つまらない」と怒ってくれました。大きな救いになって、「学校」が息苦しくなくなりました。

私は、「学校」は良い子の型を示しすぎず、誰にも負けない良いところを持つていることに気づける場所であってほしいです。

この小さな叫びが、「期待」がプレッシャーとなっている誰かや、問題児と馬鹿にされている誰かに、届くことを願っています。



「BIBLIOPHILE」



霞ヶ浦中学校9年 菅谷 佑果

私はこれから生きていく世界が「認めあう世界」になってほしいと願っています。そのように考え始めたのは、性に関する二つの悩みがあるからです。

一つ目は、見た目に関する服装についてです。ここ数年で「ジェンダーレス」の考えも広まり、私が通う中学校でも、女子生徒がスラックスを着用できるようになりました。この制度が施行され、スラックスを履いて学校生活を送ることができるといことで、心の霧が晴れた子はたくさんいると思います。

一方で、男の子はどうでしょうか？。私の学校では女子用のスラックスはありますが、男子用のスラックスはありません。スカートを履きたいと言っている男子もいません。しかし、男子用のスカートを履きたいと考えている人がいるとしたら私達に何ができるでしょうか。実際にスカートを導入することが難しかったとしても、その考えを受け入れようとするだけで世界は変わっていくのではないかと思います。「男の子らしさ」「女の子らしさ」

を越えた「自分らしさ」を認め、自分とは異なる考え方や感じ方を受け止めることが「認めあう世界」の第一歩なのではないかと考えます。

二つ目に、同性婚という問題についてです。現在日本では同性婚が認められていません。この法律により、苦しんでいる女の子を私は知っています。その子は、ある同性の女の子に恋をしていました。ちょうどその頃、私は友達に同性愛について話をしました。その時に話した友達は「ちよつと私は：」とその子を軽蔑するような反応をしました。世間ではLGBTQ(+)をうたいながらも、全く浸透していないことに胸を痛めました。人を好きになる感情なんてみんな一緒に、差などないはずなのに、好きになった人が同性であるということだけで軽蔑されるような世界ではいけないと強く感じました。結婚を許されないという事で生きていくうえで支援や援助を受けられない方々もいます。皆さんの中には、結婚なんてしなくても幸せになれると考える人もいます。もちろんそういうった考えを否定するつもりはありません。ただ、結婚ができないという理由で、心だけでなく生活にも支障をきたすこともあるということを知ってほしいです。例えば、税金の負担や関係の証明、遺産の相続や生命保険の受取人など、命に関わる場面に居ることができない、当たり前に行けるようなことが当たり前に行けないということもどかしさ。私はそんな生活を想像しただけでも悲しくなります。同性を好きになっただけなのに、こんなにも生活

に差が出てしまうのはおかしいです。こんな世界を本当にみんなが望んでいるのでしょうか。少なくとも私の知っているその子は、そんな世界を望んでいません。しかし、その問題を解決するためには、大きな壁を越えなければなりません。それは「少子化」や、「差別的偏見」です。同性婚が認められない大きな要因となっています。本当に同性愛より少子化が大事ですか？結婚を認めなくても同性を好きになることに変わりはありません。皆さんはどうですか？先に述べた男子用のスカートの話聞いて、それは男の子が履くものではない、気持ち悪いと考えませんでしたか？そういった固まった思考が、少子化を加速させていると考えます。今、職場や周囲の理解が得られず、働きながら子育てをするには困難な社会だとも言われています。「今までは」という常識にとらわれず、同性愛や少子化について理解を示し、認めてくれるだけで心が楽になる人たちが必ずいるはずですよ。「同性愛って素敵だね」なんて言われなくてもいいんです。「そうなんだ。別にいいんじゃない」と認めてくれるだけでいいんです。そして、私達一人一人が身近な問題として捉えることで、負の連鎖から解放され「認めあう世界」になっていくと思います。私の知っているその子や、LGBTQ(+)の人を含め、誰もが暮らしやすい世界へ動き出すことを心から願います。



研修会等へ参加しました

○土浦地区青少年育成市民会議連絡会 研修集会

令和4年12月4日(日)

きらくやまふれあいの丘ふれあいの館ホール(つくばみらい市)

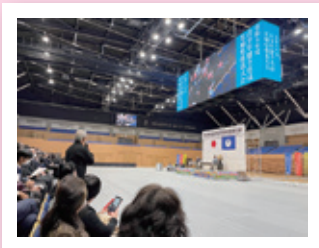


○青少年健全育成茨城県推進大会

令和5年2月8日(水) アダストリアみとアリーナ



二所ノ関親方(元横綱 稀勢の里)の講演会



青少年心身健全育成事業

ジュニア和太鼓教室

市内の小学3年生から中学生を対象に、市の体育センターで和太鼓教室を開催しました。12名の参加者が、あゆみ太鼓の方々の指導のもとバチの持ち方や構え方などの基本的な練習から始め、6回の教室の最終日には、保護者の皆さんの前で堂々とした姿で演奏を披露しました。



ジュニア和太鼓教室の練習風景



曲は田楽座の「太鼓ばやし」。この曲は、太鼓を演奏する際に振り付けがあるため、振り付けを気にしていると太鼓を叩くタイミングがずれてしまい、最初のうちはみんな悪戦苦闘していました。毎週練習を重ねて上手に演奏できるようになりました。また、「ふれあい生涯学習フェア2022オンライン」の収録にも参加し、インターネットを介し多くの人々に子供達の演奏を見ていただくことが出来ました。

かすみがうら市

青少年相談員連絡協議会

青少年を取り巻く社会環境を健全化し、青少年の健全育成と非行防止に資することを目的として様々な活動を行っています。

①巡回活動 徒歩や青色防犯パトロール車で、毎月2回程度、市内の施設や店舗を中心に巡回しています。市内の公園や神立駅周辺の防犯パトロールも行っています。

②店舗への訪問活動 コンビニエンスストアなどの商業施設を訪問し、「青少年健全育成に協力する店」として良好な環境づくりへの協力をお願いします。なお、市内では現在35店舗にご協力いただいております。

③研修会 青少年相談員としての更なる資質の向上を目指して、令和4年11月12日(土)にあじさい館にて研修会を実施しました。第1部では、茨城県青少年指導員の井坂武様に「青少年を取り巻く環境と青少年相談員に求められること」の講話をいただきました。第2部では、当市の青少年相談員のメンバーが中心になって立ち上げた「子ども食堂『ふぁみりー』」について、発足から現在の活動状況に至るまでの紹介をしていただきました。子ども食堂『ふぁみりー』は茨城県青少年育成協会の「地域を編む孤立ゼロプロジェクト」令和4年度のモデル事業にも選ばれています。

④県青少年相談員連絡協議会第5ブロック研修会 土浦市・石岡市・つくば市・かすみがうら市の青少年相談員相互の連携を深め、広域的な青少年問題に対応できる体制づくりのため、研修会が実施されています。コロナ禍で2年続けて中止になっていましたが、今年度は令和5年1月28日(土)に当市のあじさい館にて講演会を実施しました。

今年度、中止になってしまった活動についてご紹介します。

○あいさつ・声かけ運動 生徒が登校する時間にあわせ、市内の中学校・義務教育学校であいさつと声かけを実施しています。

○啓発活動 神立駅での非行防止キャンペーンや市内のイベントにて、多くの方に青少年健全育成への理解を語りかける活動をしています。



第5ブロック研修会



第5ブロック研修会



研修会

市子ども会育成連合会事業

親子つり大会



令和4年6月4日(土)、上佐谷地区の雪入川にて3年ぶりに「親子つり大会」が行われました。42組129名の参加者が早朝からニジマス釣りに奮闘し、ニジマスが釣れると大きな歓声を上げていました。コロナ禍での感染対策として募集人数を絞った開催となりましたが、参加者はたくさん釣果に家族の笑顔あふれる和やかな1日となりました。

リーダー研修会



令和4年9月4日(日)、歩崎湖畔と農村環境改善センターを会場にリーダー研修会が開催されました。カヌー体験では、子ども達の覚えも早くあっという間に乗り方をマスターし自由自在にカヌーを操っていました。その後も、ダンボールを材料に自動販売機の模型を組み立てたり、消防署の職員から救急救命の方法を学んで心肺蘇生法を実践したりと盛りだくさんの内容でした。暑い中でしたが、参加した15名の児童たちは積極的に活動し、様々な体験を糧にひとまわりたくましくなったように感じました。

高校生の活動



今年度の高校生会は17名となり、定例会のほかに、学習支援ボランティアのお手伝いや市子ども会のイベント協力、あじさい館ホールのクリスマスツリー装飾など、様々なイベントに参加し活動してきました。

コロナ禍で大きなイベントがなくなるなか、「できることを、できる時に、できる人が」をモットーに、今の自分たちのできる活動を積み重ねています。

新たな高校生会員も随時募集しています。ご興味のある方は生涯学習課までお問い合わせください。

二十歳の集い事業

(旧成人式)



令和5年1月8日(日)千代田講堂にて、令和5年かすみがうら市二十歳の集いが行われました。今年度は、午前・午後の2部制開催とし、感染症対策を講じて実施しました。コロナ禍で制約も多くあるなか269名が出席し、懐かしい友との再会を喜び、新たな人生の一步を踏み出しました。

二十歳の集い事業には青少年育成かすみがうら市民会議も協賛し、参加者に記念品を贈りました。

KwCS

かすみがうら市 ウィークエンド・コミュニティー・スクール 事業

市内に住む児童・生徒を対象に、心豊かな人間性と郷土を愛する心を育むことを目的に、学校や家庭などの日常生活では経験できないような体験学習を関係機関、団体、組織が一体となって事業を実施しています。

今年度は、コロナ禍のため感染症対策を行ったうえで、親子つり大会、富士見塚古墳たんけんクイズラリー、海の落語〈子ども大学オープンキャンパス〉、リーダー研修会(カヌー教室・ダンボール工作・救急入門講習)、かすみっ子まつり(ごじゃっぺかるた大会・工作)等の事業を実施しました。



「リーダー研修会」
カヌー教室



子ども大学
オープンキャンパス
「海の落語」



「リーダー研修会」
救命入門講座



Good!!

「かすみっ子まつり」
ごじゃっぺかるた大会



+



青少年育成かすみがうら市民会議

事務局 かすみがうら市教育委員会事務局生涯学習課
〒300-0134 茨城県かすみがうら市深谷3719-1
TEL.029-897-0564 FAX.029-898-2965

発行日: 令和5年3月15日